

# 移住者マッチングによる 岐阜の伝統工芸継業支援事業

特定非営利活動法人ORGAN



# 事業概要

本事業では美濃市～岐阜市における美濃和紙、岐阜和傘、岐阜提灯、和製本等の和紙をベースにした伝統産業を対象として、産地や企業と連携し、第三者的かつ俯瞰的な目線から「ものづくり」に関心のある移住希望者に特化した受入の仕組みや体制づくりを進め

1. ものづくりに特化した移住希望者と産地・企業とのマッチング
2. 職人としての技術継承と人材育成
3. 伝統工芸品の安定供給体制の強化
4. 生産増に伴う新たな雇用機会・創業機会の創出

という産地における、人材育成と産業振興の好循環を生み出すことを目的とする。

# 岐阜和傘の歴史と現状

- 1594
    - 日本に開閉式傘伝来
  - 1639
    - 戸田氏加納に傘屋金右衛門連れてくる
  - 1756 宝暦6
    - 永井尚旧 加納藩主になり和傘奨励
  - 江戸末期
    - 約50万本
  - 1879 明治12
    - 約150万本 シドニー万博に出品
  - 1949 昭和24
    - 1000万本以上 和傘屋600軒
-  
- 2018 平成30
    - 数千本 和傘問屋3軒と個人の職人

和傘生産は大きく減少

# 岐阜和傘の危機①

- 日本で、傘口クロと傘骨を作る職人は岐阜県にしかいない
- それぞれ1名と3名で、いずれも高齢に近づいている



**緊急課題①：**  
**傘ろくろ職人と傘骨職人の後継者の確保・育成が急務**

# 岐阜和傘の危機②

- 傘骨を製造する機械が足りない
- 現在の傘骨を製造する機械は更新時期に来ている

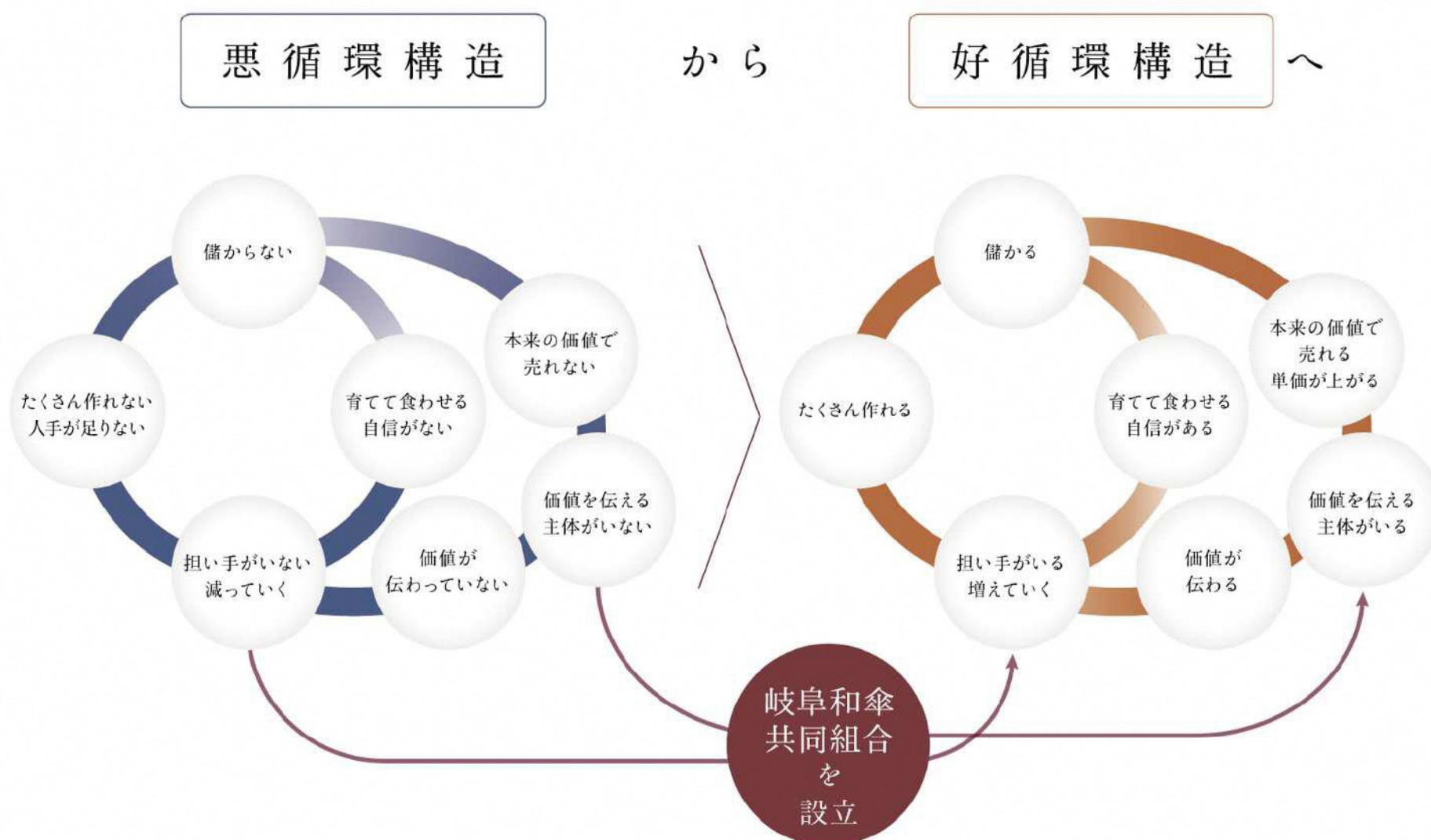


※現在故障中の業界で共有している親骨製造機械

**緊急課題②：道具・機械の追加導入や更新が急務**

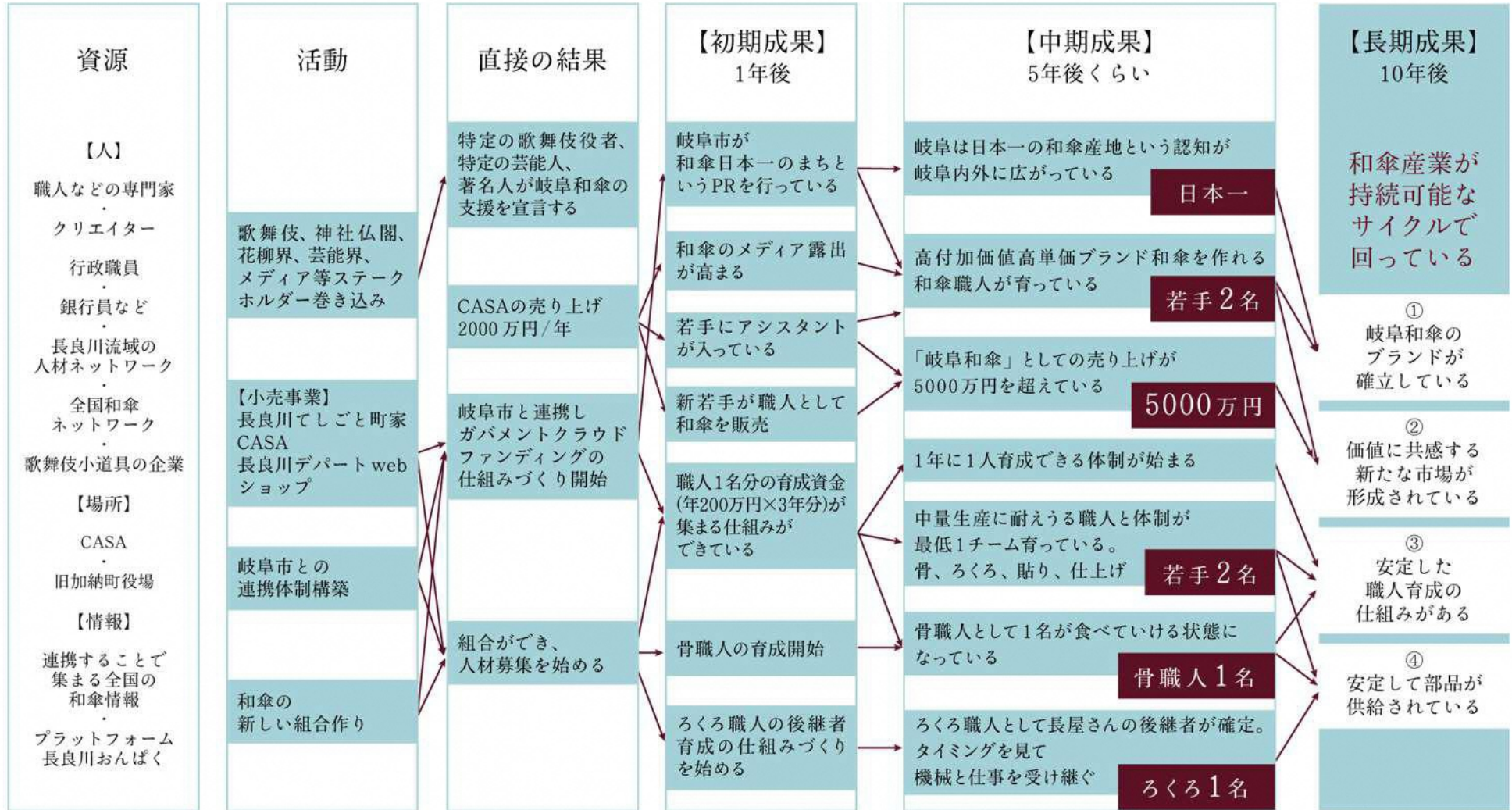
# ①各伝統工芸事業者との合意形成と課題の整理

15回以上の会議を経て 課題の構造化とアプローチ手法を検討





# 持続可能な岐阜和傘産業の実現ロジックモデル



**5年で5名の若手を育成**

## ②受け入れ態勢の整備

●見習いに対して技術継承を行う職人を決定した。

【骨師匠】マルト藤沢商店 羽根田正則さん

【ロクロ師匠】長屋木工所 長屋一男さん

●採用後の研修形態

見習いの研修にあたっては、アルバイト雇用の形態とすることとした。

雇用主体は、後述する一般社団法人 岐阜和傘協会とし、技術を伝える職人は上記の2名に依頼を行った。

形態：アルバイト雇用

週四日程度：研修（就業）

研修時間：8:30～17:30（お昼休みあり）

活動支援金：月額上限125,000円

●研修成果の目安・目標

1年目：定型商品の切削加工を任せられるようになる

2年目：機械を操作し、切削工具の調整や自作などを行えるようになる

3年目：傘骨、ロクロの原料の目利きをできるようになる



# ③人材育成資金の調達 (クラウドファンディング)

2019/11/13(水)～2020/1/24(金)  
クラウドファンディング  
【READYFOR SDGs × 中部電力】

## 総額7,752,000円調達

**和傘のある日本を守りたい。**

岐阜和傘部職人の育成をご支援ください！

クラウドファンディング期間  
11/13 2019年 13日 2020年 1/24 23:00

日本一の和傘の産地、岐阜から挑戦します。

江戸時代初期より続く岐阜和傘は国内生産の3分の2以上を担う一大産地です。岐阜市和傘振興会は和傘のPRと若手育成、体験を広く提供してきていますが、供給を賄いきまてはきつまって、職人、関係者の高齢化が著しく和傘の製作品種である傘クロコと傘骨の製作技術の継承がもたらす危機状況となっています。今、後継者を育成しようといわれれば立ち上がりません。

SDGsの達成を目指し、マッチングギフトの仕組みを通じて企業から社会まで、皆様のご支援が倍額\*になります！

READYFOR クラウドファンディングで  
ご支援ください！

5,000円から  
ご支援  
いただけます！

このプロジェクトはREADYFOR SDGsに参加しています

READYFOR SDGs × 中部電力

READYFOR

クラウドファンディングとは はじめる さがす

購入型 #岐阜県 #地域 #地域文化 #まちづくり #特産品 #伝統文化 #歴史

日本一の産地の使命。江戸から令和へ。和傘文化の後継者を繋げ！

岐阜市和傘振興会

後継者育成  
プログラム始動

READYFOR SDGs × 中部電力

支援総額  
5,252,000円 目標金額 2,500,000円

支援者 246人 募金終了日 2020年1月24日

プロジェクトは成立しました！

プロジェクトの相談をする



# ④人材の募集

- ・長良川てしごと町家CASA、マルト藤沢商店のHP
- ・各事業者のTwitter、Facebook、Instagram等のSNS
- ・11/12(火)中日新聞朝刊掲載

日本の伝統文化を守る



岐阜和傘を残し、

傘骨とロクロを製作する職人の見習いを募集します

国産の7割近くを製造するまち、岐阜。日本で唯一、和傘の主要部品を作る職人がここにはいます。未来に向けて和傘を残すため、和傘の基盤部品である、

傘骨とロクロを製作する

職人の見習いを募集します

日本の和傘の産地、岐阜。江戸時代初期より続く、岐阜の和傘。和傘といふ言葉が金沢から京都を指す。長い歴史が、和傘の産地を築き上げてきた。和傘は国内生産の9割以上を担う大産地です。昭和初期のピーク時には年間10万本を超える和傘が岐阜で生産されたそうです。

しかし現在では従来品には傘骨やロクロ職人が減少・高齢化し、岐阜には日本の和傘の産地を担う危機に瀕しています。岐阜県、日本傘協を母体とする伝統芸能、伊勢神宮、出雲大社と神地における神事や地元の祭りなどに和傘は欠かせません。また和傘の産地を担う傘骨、ロクロづくりは、日本伝統文化の宝を担う重要な仕事です。

これまでも傘やロクロの製作は家として行われてきたため、地域の人が職人の指導を受けること

傘骨職人見習い  
傘ロクロ職人見習い

募集

2019年度  
採用人数各  
1名

# 8名の応募あり

岐阜和傘を残し、日本の伝統文化を守る

国産の7割近くを製造するまち、岐阜。日本で唯一、和傘の主要部品を作る職人がここにはいます。未来に向けて和傘を残すため、職人見習いを募集します。

和傘部品職人研修生募集

和傘の基盤部品である、傘骨とロクロを製作する職人の見習いを募集します

日本一の和傘の産地、岐阜。



# ⑤岐阜の伝統工芸の魅力を伝えるイベントにおいて 人材募集PRを実施

“和傘”を知る、学ぶ、楽しむ  
会場：歌舞伎座内“花籠”

出演：蒲勇介(NPO法人ORGAN)、近藤真理子(藤浪小道具)、河合幹子(今日和)



テレビ番組にも  
登場した話題の桜和傘も  
実物をご覧ください！



【講師】蒲 勇介  
NPO法人ORGAN理事長  
岐阜和傘専門店  
和傘CASA プロデューサー

【講師】近藤 真理子  
藤浪小道具株式会社  
演劇部企画課課長

【出演】河合 幹子  
今日和 和傘職人

歌舞伎の演目のうち、和傘を用いるものは30以上に及びます。伝統芸能が、小道具を通じて、伝統工芸の作り手と繋がり助け合っている。その奥深い世界を楽しんでいただけるトークライブです。

- 当日のプログラム**
- ・歌舞伎和傘のご紹介と、藤浪小道具の取り組み
  - ・歌舞伎×和傘トークセッション
  - ・和傘かがり系 実演と職人インタビュー

**会場** 歌舞伎座3階 **花籠ホール**

日付：令和元年6月26日(水)  
時間：14:00～16:00 予定(受付 13:30～)  
料金：1,000円(税込)お茶・お菓子付

**先着80名様**  
《自由席》

**お問合せ**  
**お申込み**

歌舞伎座サービス株式会社 (本多・高野)

TEL: 03-3545-6820 (10:00～17:00)  
FAX: 03-3545-6559 (お申し込み用紙裏面)

主催：NPO法人ORGAN 協力：歌舞伎座サービス株式会社

▶ 表面に必要事項をご記入の上、お申込ください。

歌舞伎をまえる影の女役者  
“和傘”を知る、学ぶ、楽しむ

日本最大の産地、岐阜和傘の挑戦！

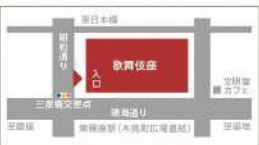
歌舞伎座

花籠大学院 第六講

岐阜和傘特別販売会

日本の和傘を産する岐阜和傘の、5社の職人達の和傘を東京で見学。聴いて目える、歌舞伎×和傘を、お見逃しなく！

歌舞伎座ホームページ  
催し物予約ページQR



当日は、正面玄関からの入場はできません。  
【地上からお越しの場合】※地図をご覧ください。三原橋交差点から南通りを歩み、ビルに入ってから左側にある「花籠ホール」の入り口で3階へお進み下さい。  
【地下からお越しの場合】本丸町駅(東山線)直結のセブンイレブンに向って左へ進み、つき当りの「2台並んだエレベーター」で3階へお進み下さい。





## ⑥面談、採用

### 【職人募集の結果】

総勢8名の応募があった。

- ・男性5名、女性3名
- ・ロク口職人希望1名、骨職人希望4名
- ・岐阜県5名、愛知県1名、神奈川県1名、広島県1名

### ○採用までの流れ

一次選考通過5名（男性4名、女性1名）





## ⑦技術継承の研修を開始する

傘ろくろ職人見習い

近藤智弥さん 32歳 岐阜市出身岐阜

市在住 前職川崎重工業(株)勤務

1月14日より 研修を開始

骨職人見習い

前田健吾さん 37歳 福岡県出身広島

県在住 前職マツダ(株)勤務

2月10日より研修を開始





# 【目標とその達成状況】

【目標】本年度中に人材の募集広報を行い、5名以上の応募、面接を得る

【達成状況】総勢8名の応募がありました(男性5名、女性3名)

【目標】本年度中に1名以上の伝統工芸の担い手が移住し、技術継承が開始する

【達成状況】ロクロ職人見習いは岐阜在住でしたが、傘骨職人見習いは広島から移住しており、ともに研修を開始。

【目標】翌年度以降継続的に人材募集・育成を行う仕組みができる

【達成状況】

当法人の支援により、継続的に人材募集・育成を行う主体として、和傘製造者5者を発起人とする、「一般社団法人 岐阜和傘協会」の設立に至った。

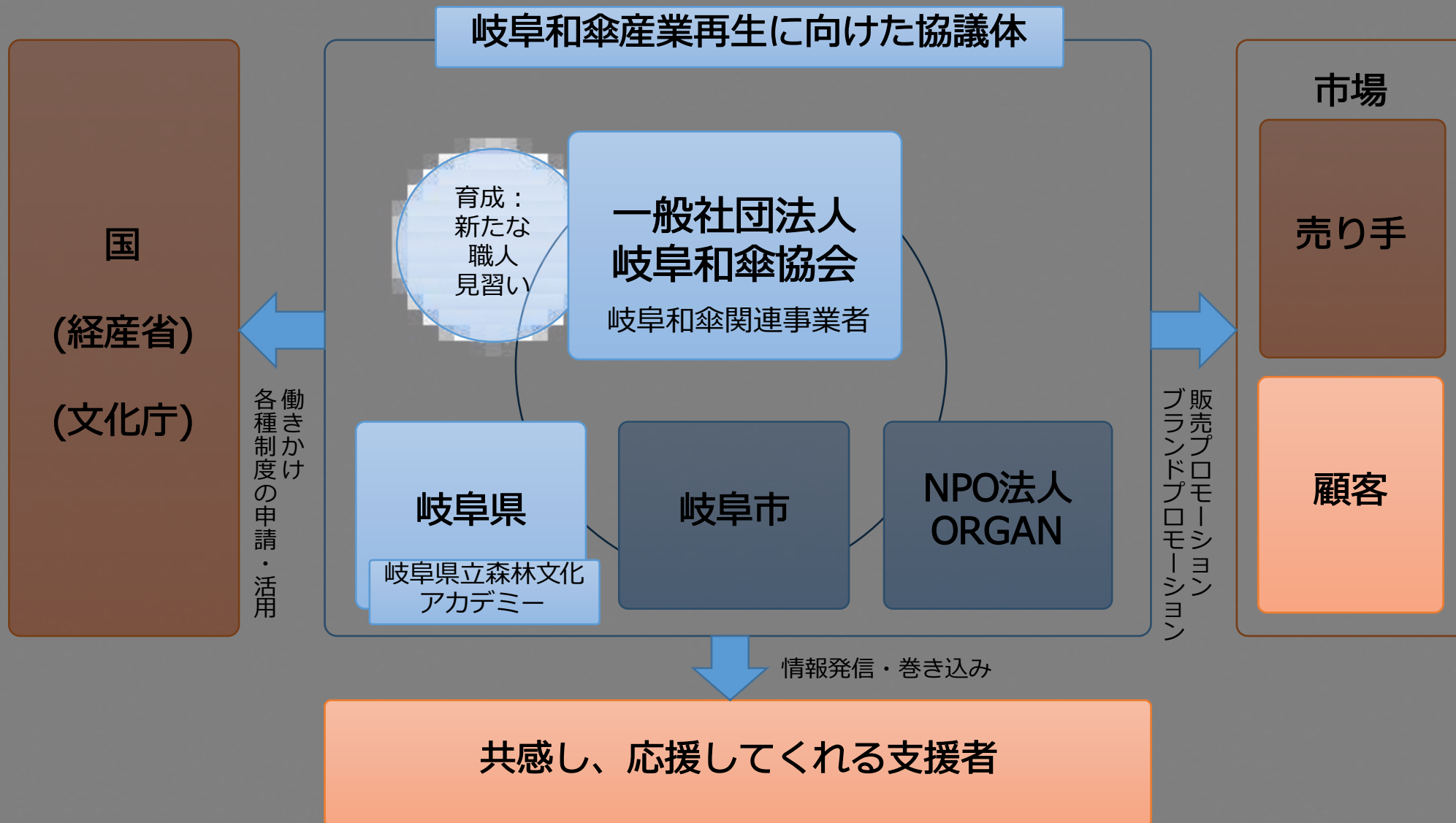
2020年1月13日(月)に設立総会及び設立披露会が実施された。

# 一般社団法人岐阜和傘協会設立披露会 2020年1月13日@岐阜メディアコスモス



一般社団法人

# 岐阜和傘協会を中心とした 岐阜和傘産業再生の体制(案)



# 一般社団法人 岐阜和傘協会の取り組みと目指す未来

## 短期的取り組み

## 中期的取り組み

### ①後継者の 確保・育成

- 傘口クロ、傘骨職人の育成
- 育成に向けた資金調達

- その他の職人の育成
- 継続的な育成資金の調達

### ②原料と部品の 確保

- エゴノキプロジェクトの継続
- 和傘骨製造機械の更新
- 和傘に適した和紙の開発

- 傘口クロ、傘骨販売体制確立
- 和紙、竹、その他原料と部品の持続的供給の担保

### ③ブランディング

- 岐阜和傘の定義付け
- 経済産業省伝統的工芸品指定

- 文化庁 選定保存技術認定
- 各種ブランディング施策

### ④需要の拡大

- 新規需要への対応
- 需要の捕捉(市場調査)と戦略づくり

- 岐阜和傘の認知拡大
- 高単価販路の拡大

持続可能な  
和傘産業の  
実現を目指す

①安定した  
職人育成の  
仕組みがある

②和傘部品が  
安定して  
供給されている

③岐阜和傘の  
ブランドが  
確立している

④価値に共感す  
る新たな市場が  
形成されている

# 他地域での活用にあたり

- ①「伝統工芸」「伝統文化」の強み  
「伝統工芸」「伝統文化」の継承者を目指す移住希望者が全国にいる
- ②民間の強みを生かし、公共を巻き込む手法  
今回の和傘の人材育成と、産業再生の取り組みは以下のように進んだ  
「新市場形成」×「社会運動」→「政策提言」→「政策化」